

## 令和8年度 1学期始業式 式辞

おはようございます。本日から、令和8年度がスタートします。

みなさんも、学年が一つずつ上がり、それぞれ、2年生、3年生になります。新たな気持ちで、この新学期に臨んでいるものと思いますが、本日新しい年度のスタートである節目として、みなさんに、是非、取り組んでほしいこと、考えてほしいことを2点話したいと思います。

1つ目は、令和8年度の目標をしっかりと決め、目標達成に向けてたくさんチャレンジしてほしいということです。人生の中で、人はいくつかの節目を迎えると思いますが、年度が変わり、新しい学年、ステージが上がるこの4月に目標を定めることは、非常に大事なことだと思います。また、目標を定めるときに、一緒に考えてほしいことがあります。自分が定めた目標について、何のためにその目標を定めるのか、目的を考えてください。目標と目的この2つをセットで考えていくことが、目標達成に向けた努力の仕方にもいい形で取り組めるものと私自身は信じています。

特に、3年生にとっては、ほとんどの人が1年後、与論を離れることと思います。進路目標をしっかりと定め、それと同時に、何のためにその目標を達成したいのかを考えることで、より納得いく結果につながっていくと思います。頑張ってください。

2年生のみなさんは、学校の中堅の学年として、学校行事や部活動等の中心的役割を担っていくが増えてきます。3年生から、バトンをしっかりと受け継ぎ、その役割を果たしてくれることを期待します。

そして、みなさんが、一所懸命に取り組んでいくことが、与論高校の伝統として未来へつながり、さらには、与論高校、与論町の発展にもつながっていくものと考えます。部活動、学習に限らず、地域の行事等においても、みなさんが力を発揮していくことを期待します。

2つ目は、「ルーツに誇りを持つ」ということです。このことは、大倉、前校長先生がみなさんに、話されてきたことだと思いますが、与論出身「ユンヌンチュ」の私としても、大倉、前校長先生から引き継ぎ、みなさんに考えてほしいと思います。

与論のことが「好き」か「嫌い」か、ということは別として、今現在、関わりのある与論について、知ること、そこに自分がいる意味を考え、与論のよい点や課題点など、与論を離れる前によく考えておくことが、与論以外の地域で生活していくときにも、その地域について考え、知ることによって地域の理解、広くいえば、国際理解につながるものと考えます。あなた自身にとって、「親とはどういう存在なのか」、「友達、仲間はどういう存在か」、「与論高校はあなた自身にとってどういう場所か」、など考えてみてください。

あらためて、そのようなことを考えることによって、みなさんには、与論の未来を支える人材になってほしいと願うと同時に、どの社会でも通用する人材になってほしいと心から思います。自分を活かし、周りの人を活かし、お互い理解し合える学校、地域社会、国際社会を築いていけるよう、まずは足下、自分のルーツについて、しっかりと考えてみてください。

結びに、本年度は、与論高校創立60周年の節目の年になります。今年は、同窓会のみなさんや与論町民のみなさんをはじめ、与論高校に関係のある方々が、例年以上に関心を持っていることと思います。

明日、入学してくる1年生を含めて、学校一丸となって、この節目である1年を乗り切れることはもちろんのこと、次の70周年、そして、その先につながられるよう、今、この一瞬一瞬を大事にし、共に学び、共に頑張っていきましょう。

以上で、式辞といたします。